

令和4年度 関東農政局国営事業管理委員会（再評価）那珂川沿岸地区

技術検討会（第3回） 議事録

開催日時 令和4年7月25日（月） 13:00～13:55
場 所 WEB 及び関東農政局 防災対策室1・2
参 加 者 会議資料のとおり

〔技術検討会の議事概要〕

議事（1）①第2回技術検討会の意見・質問への回答及び補足説明、②公表案「評価結果書」及び「事業の効用に関する説明資料」

石井委員長）①第2回技術検討会の意見・質問への回答及び補足説明、②公表案「評価結果書」及び「事業の効用に関する説明資料」について、事務局よりご説明願います。

事務局）ご説明をさせていただきます。

（資料に基づき説明。説明内容は記載省略）。

石井委員長）ただいまのご説明について各委員よりご意見、ご質問があればお願いいたします。確認ですが、前回検討会で西脇委員からご指摘のあった魚類等の迷入防止対策については、評価結果書のどの部分に追記されているのでしょうか。

事務局）資料 P15 の【環境との調和への配慮】に「那珂川揚水機場の取水口においては、アユ等魚類、底生生物の保全対策として迷入対策施設を整備した。」と追記させていただきました。

石井委員長）分かりました。西脇委員、このような記載でよろしいでしょうか。

西脇委員）魚類への配慮対策の取組を記載していただいております、この記載でよろしいかと存じます。

石井委員長）その他にご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

各委員）特になし。

石井委員長）ご意見等がないようですので、これから③技術検討会の意見のとりまとめを委員のみで行いたいと思います。

議事（1）③技術検討会の意見のとりまとめ（委員のみ）

※委員のみで検討のため記録なし。

議事（2）技術検討会の意見の答申

石井委員長）ただ今、技術検討会の意見を取りまとめましたので、関東農政局国営事業管理委員会委員長に答申させていただきます。

【技術検討会の意見】

本事業は、地域の用水不足や施設の老朽化に伴う機能低下を解消し、農業生産性の向上と農業経営の安定化を目指している。

本事業により農業用水が新たに供給された畑作地域では、営農環境が整備されたことから新たな農業者や企業が農地を求めて集約し、従前よりも収益性の高い農業を開始している。新規参入の農業者は、農作物の生産量の安定化や品質の向上、営農経費の節減には安定的に供給される用水が不可欠と実感しており、本事業の事業効果が発現しているものと評価できる。また、これらの地域がモデルとなり、本事業地区で今後関連事業が整備される地域でも、新規作物の導入や農業参入の促進等による新たな農業の進展が期待される。

また、施設の老朽化に伴う機能低下の解消をはかっている水田地域は、茨城県でも優良な水田農業地域で、農地転用の率も低く、本事業により農地の荒廃化が抑制され、優良農地での安定した生産性の高い水田農業が継続されることが期待できる。

そして、御前山ダムは、流域治水に資する事前放流を行うダムとして那珂川下流域の災害防止にも寄与するだけでなく、総合学習の場やアウトドアイベント等の開催地としても活用されている。事業地区内においては、食への関心の高まりや SDGs 等環境や農業に対する国民の意識が変化する中、今後、エコツーリズム等との複合的な取組を行うことで付加価値が高まり、若年層を含む交流人口が増加し、地域農業の活性化にも寄与することが期待される。

令和6年度の事業完了に向けて事業が進められているが、事業効果の早期発現に向けて、更なる関連事業の加速化を事業主体と連携して進めるとともに、環境との調和に配慮しながら事業コスト及び維持管理費の低減に配慮した施設の整備に努め、着実に事業を推進されたい。

石井委員長）本技術検討会の議事につきましては以上になります。

委員の皆様、事務局ほか関係者の皆様におかれましては、これまでの議事進行に当たりご協力をいただきありがとうございました。

進行を事務局にお返しします。

事務局）石井委員長におかれましては、議事進行ありがとうございました。

今後のスケジュールを説明させていただきます。

「技術検討会の意見」、そして、技術検討会の意見を踏まえた「事業の実施方針」（案）を評価結果書に記載し、今月中に農水本省に提出いたします。

その後、本省内で手続きがなされ、8月末の概算要求の公表に合わせて、農水省ホームページにて公表される予定です。

以上